

## Pfeiffer Vacuum社製 コンパクトフルレンジゲージPKR25X,PKR26X調整手順

ゲージはメーカーで調整されておりますが、気候条件の違い、経年変化、汚染などの影響により、ゲージの再調整が必要になることがあります。

コールドカソードゲージに切り替わらない場合は下記の調整により改善されることがあります。

### 必要工具

- ・ 0番のドライバ（－）
- ・ 円筒のピン 直径：3mm程度

### 高真空側の調整

1. ゲージを動作させ $1 \times 10^{-2}$ Pa未満になるまで排気を行い10分間待ちます。
  2. ゲージのプレートをすこし持ち上げ反時計回りに回してください。
  3. 円筒ピンで①のボタンを押しながら②の<HV>ポテンションメーターを0番のドライバ（－）を使用し $5 \times 10^{-2}$ Paになるように調整を行ってください。
  4.  $5 \times 10^{-2}$ Paに調整を行った後、ポテンションメーターを反時計方向に $120^\circ$ 回転させてください。
- \*電圧計をご使用になり調整される場合は4.2Vに合わせてください。
5. 高真空側の調整終了後、大気圧の調整を行いますので、真空計の取りついているチャンバを大気圧まで戻します。

\*調整を行っても値が変わらない場合は内部の汚れ、ピラニセンサの不良、エレクトロニクスユニットの不良が考えられます。



## 大気圧側の調整

1. 大気圧に戻した後、10分間待ちます。
2. ゲージのプレートをすこし持ち上げ時計回りに回してください。
3. ③の<ATM>ポテンションメーターを0番のドライバ（－）を使用して回転させ $1.0 \times 10^5 \text{Pa}$ に調整してください。＊電圧計をご使用になり調整される場合は8.6Vに合わせてください。
4. ゲージのプレートを元に戻して調整は完了です。

＊調整を行っても値が変わらない場合は内部の汚れ、ピラニセンサの不良、エレクトロニクスユニットの不良が考えられます。



③ATMポテンションメーター

### □ サービスについて

ファイファーバキューム社製品のアフターサービスにつきましては伯東（株）またはご購入先へご用命ください。修理、オーバーホールなどの作業は弊社で対応いたします。特別な場合を除く、作業は国内で行っております。ご質問等ございましたらお気軽にご相談ください。

問い合わせ先：伯東株式会社 電子機器事業部 技術二部

伊勢原サービスセンター TEL：0463-96-2005/FAX：0463-96-2021

お問い合わせアドレス：Pfeiffer-service@hakuto.co.jp